

小さな群れ

カトリック美唄教会

2023年12月 No.319

2023年11月26日発行

Fr. Narciso Cavazzola ofm

カトリック教会は、毎年“イエス・キリストの救いのわざ”を思い起こして祈ります。

典礼暦年には、大きな山が二つあります。復活祭と降誕祭です。一つの山を準備し、祈るのが12月です。



平和の君イエス・キリストの誕生を待ち望みながら、世界の平和を心から願い祈ります。この月は、非常に豊かな典礼の日々です。年の終わりですが、典礼では新しい周期として歩み出す月でもあります。

B年という新しい周期の中で、キリストの神秘全体を思い起こしていきます。

12月には、

- ① 日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭の祝日、
- ② 無原罪の聖マリアの祭日、
- ③ そして、主の降誕祭からは
- ④ 8日間荘厳に祝う日々が続きます。

全教会の信徒たちと、この12月を豊かに祈る日々といたしましょう。

12月3日、美唄教会では、クラウヂオ神父様の指導によって、黙想会が行われました。恵の時間でした。クリスマスの準備として、赦しの秘跡を受ける機会でもありました。

罪の赦しの秘跡をいつでも受ける事が出来ます。

また12月31日は、2023年の終わりです。一年間、共に祈り、共に働き、無事に一年間を過ごす事が出来て神様に感謝しながら、来年は良い歳になるように、ともにお祈りしたいと思います。



2023年12月 主日ミサ・平日のミサ予定

主任司祭 ナルチゾ神父

美唄教会 小さな群れ

2023年 12月 No.319

2023年 11月26日発行

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
3	日	待降節第1主日	午前 9:30	黙想会	宣教地召命促進の日
8	金	無原罪の聖マリア	午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
10	日	待降節第2主日	午前 11:00		運営委員会
15	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
17	日	待降節第3主日	午前 11:00		ツリー・馬小屋 飾り
22	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
24	日	待降節第4主日	午前 11:00		
		主の降誕前晩のミサ	美唄教会はありません		主の降誕前晩のミサは砂川 18:00
25	月	主の降誕	午前 11:00		
29	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
31	日	聖家族			
1/1	月				

《 平日のミサ 》 **金曜日のみ 午前 10:30** 1.8.15.22.29 日です
 《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日（敬省略）	清掃当番	花当番
8日 無原罪の聖マリア 佐々木 愛	第2週 大城・	東
13日 ルチア 葛西道子・山内亜古	カトウ・マリアロサリオ	
15日 クリスタアナ 菅野美月	第4週 河野	

【お知らせ】

◎世界宣教の日（10/22） 献金 8,200円でした。

◎宣教地召命促進の日（12/3）は特別献金です。

◎12月～3月までの第3水曜日のロザリオの祈りはお休みになります。

ドミニコ神父様 100歳のお祝いについて

フランシスコ旭川修道院
修道院長 長尾俊宏神父

10月17日(火)月形藤の園主催で、入所されている高齢者の方々の長寿のお祝いが、ご家族も一緒に参加されて行われました。12月に100歳になるドミニコ神父様が所属する旭川修道院からはマンフレード神父様が出席しました。ドミニコ神父様は、内閣総理大臣や月形町長からのお祝いの言葉を受けました。



遠く昔、ドイツのフルダ地区から多くのフランシスコ会の兄弟たちが北海道に、旭川に、最初の宣教地として派遣されてきました。100歳までこの地で働き、今もなお存命しているのはドミニコ神父だけになりました。この良き日に、旭川地区の小教区の皆さまから「お祝いのことば」を送っていただければと思い、この案内を差し上げました。

あらためてドミニコ神父様を紹介します。

名前はドミニコ・バウア。お祝いは8月8日。生まれは1923年12月19日、ドイツのツィーゲンハイツ(Ziegenhain)、司祭叙階は1954年4月25日。



来日は1956年10月6日。1958年、旭川地区大町教会から宣教師としての歩が始まり、次のように歩られました。大町(1958～)、砂川(1973～)、末広(1983～)、羽幌(1991～)、土別(1996～)、滝川(2005～)。

2014年に現役を引退して旭川修道院に戻られ、引退後の兄弟たちのために完備された部屋へ過ごすことになりました。こちらの兄弟たちと一緒にミサをし食事をし、皆と楽しく過ごしていました。また、教

戒師として近年まで長い間勤めていました。途中、骨折のため入院等もありましたが、2022年2月16日、月形の藤の園に入所して今日になりました。

ドミニコ神父様、ドミニコ園長様として親しく人と交わり、愛されてきました。100歳を迎えられるにあたり、私たち兄弟としてドミニコ神父様に感謝の気持ちを伝えるとともに、皆さんにも喜びと感謝を分かちあってもらえたらと思っています。

- ※ 贈りものについては色紙、記念日パネル、ビデオ等皆さんで相談の上、より良いアイデアでお決めになるのがよろしいかと。
- ※ お歳ですので、飲みもの、食べものは控えめにがよろしいかと。

☑ 送付先等については、教会運営委員までお問い合わせください。

寄稿

暗く、突き刺すような寒い夜です。女性は重荷を背負いながら、一步また一步と歩きますが、その歩みが彼女にとって困難でした。彼女はどこか安心できる場所を見つけたいと思っています。彼女は出会う人たちに「寄り添ってもらえませんか？」と尋ねます。しかし、彼らはぶっきらぼうに答えます。「そんな余裕はないよ、お嬢さん!」、「それはあなたの問題だ!」、「よそへ行きなさい。私はあなたを助けることはできない!」と。彼らは「要らない動物」のように彼女を追い払います。人間の助けのあらゆる可能性に疲れ果て彼女は、馬小屋へ向かいました。そこは、これまでの人間が彼女にしたようなことのない、彼女を拒絶せず、生き物のぬくもりで彼女を保護する場所でした。牛、馬、羊、ロバのぬくもりの中で、彼女は無事に赤ちゃんを生みました。幸いなことに、夫は彼女を助けてくれます。彼らは息子の誕生を一緒に祝いました。もし、あなたがこの女性にあったとしたら、あなたは助けるでしょうか。彼女の名はマリアと言いました。

今、悲惨な状況に直面している名前も知らない多くの女性がいます。彼らは中絶しませんでした。周りに誰もおらず、自力で赤ちゃんを育てることができません。このような状況にいたった理由はさまざまですが、多くの場合が非常に悲しい出来事の結果です。彼らを判断するのは私たちではありません。ヨーロッパでは、たとえば、ドイツやポーランドでは、カトリック教会や匿名寄付者による多大な支援のおかげで、いわゆる「人生の窓」という日本でいう「赤ちゃんポスト」が運営されています。ポーランドには、修道院、教会、病院、民間のアパートで70以上の「人生の窓」が活動しています。日本では公式なものは熊本慈恵病院の一か所しかありません。しかし、実は、そのような場所は日本にも一つあり、北海道当別町の民家で坂本志麻さんが経営しています。今年は、2人の新生児を受け入れました。1人は障害があり、健康上の理由で医療機関に入院しなければなりません。一方で、2人目の赤ちゃんは坂本さんの養子になりました。当別「赤ちゃんポスト」を運営する坂本さんは、絶望的な妊婦さん、すでに赤ちゃんを産んで自分で育てられない母親を助けています。これらの女性は家族や社会から拒絶されました。当別「赤ちゃんポスト」では、無料相談、無料の部屋と食事が提供され、母親に保険や戸籍登録がなければ母子を坂本さんの戸籍に入れることができます。必要に応じて母親と子供を病院に連れて行くことも可能です。今年のクリスマスに、当別赤ちゃんポストと坂本さんを応援したい方は、ぜひお祈りを捧げてください!坂本さんと望まれない赤ちゃんたちを助けたいと思うなら、彼女にクリスマスカードを送ってはいかがでしょうか。今年のクリスマスにあなたの心の中にイエス様が生まれますように!

シルヴィア・オレーヤージュ

当別赤ちゃんポスト：<https://www4.hp-ez.com/hp/kodomo-sos/page16>

坂本 志麻の住所

〒061-0204

北海道石狩郡当別町若葉 2263-4704

Tel:080-6452-4704

